

2012年度在宅医療助成指定公募（前期）「市民講座開催への助成」
山形県村山保健所 研修会報告書

平成24年11月1日

山形県村山保健所長 山口一郎

テーマ：

在宅療養推進研修会～この町で健やかに暮らし、安らかに逝くために～

1 日時：平成24年9月26日（水）14：00～16：00

2 場所：東根市総合保健福祉施設 さくらんぼタントクルセンター大ホール

3 対象：地域住民 当日 約400名 参加
（民生委員・児童委員も含む）

4 内容：

（1）開 会 14：00

（2）挨拶

（3）内 容

① 基調講演 14：05～14：50

「この町で健やかに暮らし、安らかに逝くために」

講 師 株式会社ケアーズ白十字訪問看護ステーション
代表取締役 所長 秋山 正子 氏

② シンポジウム 15：00～16：00

「この町で健やかに暮らし、安らかに逝くために」

座 長 山形県看護協会訪問看護ステーションむらやま
所 長 鳥村 順子 氏

助言者 株式会社ケアーズ白十字訪問看護ステーション
代表取締役 所長 秋山 正子 氏

シンポジスト

① 医師の立場から 八鍬医院 八鍬 直 氏

② 家族の立場から 村山市在住 中里 和博 氏

③ ケアマネジャーの立場から

香紅の里居宅介護支援事業所 小川 由浩 氏

（4）閉 会

16：00

5 結果：

アンケート結果から有意義であったとの回答が9割を越えていた。

また、自由記載に、「在宅療養そして自宅で最期を迎えることが出来ることの大事さを改めて認識した。」「在宅での看取りについての意識が変わった。」「私や家族もできれば在宅で看取ってもらいたい。出来るのではないかと思った。」というような記載があり、住民に在宅療養について考えてもらうという目的が達成されたものとする。

6 アンケート結果

① 大変有意義であった	71.3%
② まあまあ有意義だった	24.6%
③ あまり有意義とはいえなかった	1.6%
④ どちらともいえない	2.5%
(計 100.0%)	

自由記載欄の主な意見、感想

- ・ 大変有意義な研修会だった。話が具体的で分かりやすく参考になった。
- ・ 医師、患者、ケアマネジャーとの連携が非常にうまくいった例でこれにあまりやかりたいが、家族の理解がないとできないと思う。
- ・ 8割の方が在宅での看取りを希望している割に、それが出来ないのは本当に残念でならない。
- ・ 在宅療養に関する講演会が良かった。健やかに暮らし、安らかに逝くための事例は大変参考になった。
- ・ 大変有意義であった。身近な問題だが、老人クラブ等で講話してもらえると有難い。
- ・ 誰しも通る道だが、いい話をきかせてもらった。人ごとではないような気がして来た。
- ・ 今はすぐ救急車、入院になるが、在宅療養そして自宅で最期を迎えることが出来ることの大事さを改めて認識した。
- ・ 在宅での看取りについての意識が変わった。しかし、家族の看取りの決意は大変なことではないかと思った。また、その後の環境整備、人的サービス、関係機関との連携等うまくいかないと負けてしまいそうな気がした。
- ・ 在宅でできることがよく理解できた。自分の身に置き換えてもやはり在宅は希望すると思うので頼もしい。身近に相談でき、窓口につなぐことが利用

につながり、認知度がアップすると思う。

- とても素晴らしいことだと思うが実際とても大変なことだと思う。自宅で親を送った話、いろいろな方の協力、アドバイス、とても素晴らしいことだと思う。
- 自分の親も97歳と高齢になり、寝たきりではないが、高齢者はいつ具合が悪くなるか心配で往診医療をお願いするよう手続きをとり現在はケアマネ、医者と連携を取りながら在宅療養したいと思っている。今回の講演会は自分にとっても有意義であり、またこれを参考に民生委員活動にも活かしていきたい。
- 在宅介護にあたり主治医の話を聞き、感激した。なかなか八鍬先生のような方はいない。緊急の時は夜間診療所という状況である。素晴らしい方だと思う。
- 大都市と地方の町で比べるのはちょっと無理かなと思った。秋山先生のご活躍をスライドを通して見ることができた。病院や介護老人施設で亡くなるより、大変ではあるが在宅療養を全うして、自分で安らかに逝くことができたなら素晴らしいことだと思った。
- 私としては在宅療養を希望したいと思うが、家族のことを考えるとちょっと戸惑いもある。今現在、家族に高齢者もいるが今回の講演会に出席してとても勉強になった。
- 在宅療養なんて考えられなく、最後は病院かなと思っていたが今後在宅もありかなと思った。とても良い話だった。
- 人は皆、自宅にて療養、介護を受けることができるなら一番望む事だろうと思う。それが事情によりままならない事があり、いろいろな行政に関わっているところに頼ってしまうことが多いのではないかと思う。自分も介護の必要な両親を持つ身なので勉強になった。
- 今まで考えてもいなかった在宅での事例を深く考えてしまった。私自身、老夫婦二人が家にいるのでこれからのことについて思った。
- 講演は大変良いお話で感動した。高齢者社会の対応はどうあるべきかと考えさせる有意義な講演だった。高齢者の中で介護予防の充実を社会全体で考えていく時代の中で、高齢者社会はどうあるべきか皆で考えていくことが大事ではないか？
- 特養に勤めており、施設の中で看取りを考えている。八鍬先生の話が参考になった。シンポジウムも現実的で良かった。
- 自分、主人がその場にあった時のことを考えると果たして今日の話のようなことができるだろうか。尾花沢市は訪問してくれる医師がない。
- 介護者が安心できるような数があれば私も選びたい！！今、母を父を見守

っている方全員に聞かせたかった。

- 在宅療養は子供達にも教えることができる。
- 今まで病気になったら入院治療、悪化すれば病院で最後まで入院と思っていたが、話を聞き、私や家族もできれば在宅で看取ってもらいたい。出来るのではないかと思った。
- これまで在宅で介護してきたので大変参考になった。
- 人間は必ず死ぬ。人生の最期を家族が安心しておくる教育をしていくべき。県の健康福祉部だけでなく、倫理的な面での教育のため教育委員会との連携を進めていくべきだ。
- 連携プレーが出来ているので大変うれしく思う。私も姑母を看たが、どうしようもなく最後に病院で亡くなった。本当に残念。早く知っておきたかった。
- 小さな町ではエンドオブライフケアはできればしたいが、ネットワークを作るにも都会のように専門家がほとんどいない。家族に負担がかかりすぎて心からの看取りにならないのではないかと自宅で見ることによる不安を感じる。10年前に父が亡くなった時、介護用品、ベッド、エアーマット等すべて買い揃えて自宅に連れて帰り、2週間ほど介護をしたが、低血糖ショックをおこし救急車を呼んでしまった。父の望まない病院で息を引き取ることになってしまった苦い経験がある。小さな町にも専門的な介護人材がほしい。
- 自宅での看取り、すごい事だと思う。でもそれぞれの家庭状況でなかなか難しいことではないだろうか。

6 感想：

本事業を実施し、在宅療養推進のためには、住民対象の研修会が大変効果的であることを実感しました。

特に、研修会開催地域で実際に家族を自宅で看取られた方に登場いただくことが欠かせないと思いました。基調講演のみでは、講師が活躍している地域への羨望となるが、この地域でも出来るという意識を多くの住民に抱いてもらうことが、在宅療養の推進につながると考えます。

本事業は 公益財団法人 在宅医療助成 勇美記念財団の助成を頂き実施することができました。貴財団に深く感謝申し上げます。

「公益財団法人 在宅医療助成 勇美記念財団の助成による」

在宅療養推進研修会

この町で健やかに暮らし、安らかに逝くために

「最期まで住み慣れた地域で、自分らしく生活したい。」
この願いを叶えるため、実際に家族を自宅で看取られた方にもご登場いただきます。一緒に考えてみませんか。
講師に「市ヶ谷のマザーテレサ」の異名を持つ秋山正子氏をお迎えします。

日時 平成24年9月26日(水) 14:00~16:00 **入場無料!**

場所 東根市総合保健福祉施設
さくらんぼタントクルセンター 大ホール
(東根市中央1-1-1)

※ 北村山管内 民生委員・児童委員全員対象研修会との合同開催となります。
民生委員以外の方は、時間まで会場前ロビーでお待ちいただくこととなります。



☆プログラム☆

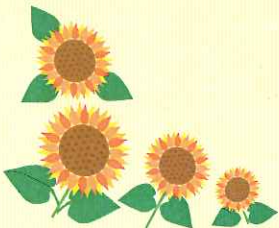
基調講演 「この町で健やかに暮らし、安らかに逝くために」
講師 株式会社ケアーズ白十字訪問看護ステーション
代表取締役 所長 秋山 正子 氏

シンポジウム 「この町で健やかに暮らし、安らかに逝くために」

座長：山形県看護協会 訪問看護ステーションむらやま
所長 鳥村 順子 氏
助言者：株式会社ケアーズ白十字訪問看護ステーション
代表取締役 所長 秋山 正子 氏

シンポジスト：

- ①医師の立場から 八鍬医院 八鍬 直 氏
- ②家族の立場から 在宅で看取りをされたご家族
- ③ケアマネジャーの立場から 香紅の里居宅介護支援事業所 小川 由浩 氏



申し込み締切：9月19日(水)

※この研修会は公益財団法人 在宅医療助成 勇美記念財団の助成を受けて開催します。

【問い合わせ・申し込み先】 村山保健所 保健企画課 企画担当

主催：村山保健所

TEL(023) 627-1246 FAX(023) 622-0191

9月26日開催 「在宅療養推進研修会」申し込み

所属または市町村名	職名	氏名	TEL